

福岡はむし歯が多いの？



園や学校で、健診がおこなわれる時期になりました。今年から座高と寄生虫卵の検査は必須ではなくなり、「四肢の状態」が必須になって手足の形などがチェックされます。

健診結果は毎年発表されるのですが、福岡県の平成27年度の集計では「むし歯」が全国平均より多かった、というあまりうれしくない結果がニュースになりました。幼稚園から高校まで全てで、むし歯がある児童生徒の割合が全国平均を上回っていました。

これだけを聞くと「気をつけているのにどうして？」と思われるかもしれませんが、もう少し詳しくわしく見てみましょう。

汚名を晴らす1点目は、「むし歯」の意味です。この集計の「むし歯」は、治療されていないむし歯と治療が済んだむし歯のどちらも含むのです。ですから、治療が終わって今はむし歯がなくても、むし歯を経験したとして「むし歯がある児童」と数えられてしまいます。年齢で多少のばらつきがありますが、未治療のむし歯がある児童が20〜30%、治療完了の児童がほぼ同じ20〜30%、治療跡もなくむし歯を経験していない児童が40〜50%でした。

さらに、以前と比べると未治療のむし歯がある児童は減ってきています。8年前の福岡県のデータでは、未治療のむし歯がある児童が30〜40%、治療



お話しいただいたのは
近藤 嘉人 院長

完了の児童が20〜30%、むし歯を経験していない児童が30〜40%でした。

そして、むし歯の数も減っています。今回の発表ではありませんが、永久歯に生えそろう12才での永久歯のむし歯未処置、処置済みの合計は、平成24年は福岡1:1（全国平均1:1）本、平成18年は福岡1:6（全国平均1:7）本です。親の世代と近い昭和61年は全国平均4:6本でしたから、約1/4に減っています。

ちなみに、むし歯本数ワースト1は沖縄県で平成24年は2:5本でした。大分、宮崎、熊本、鹿児島県がワースト10の中に入り、佐賀、長崎、福岡県は20位くらいと平均的です。これは、甘いものを好む食文化や医療環境などいろいろな要因が影響しているようです。

むし歯は少なくなってきましたが、ゼロではありません。むし歯や歯

周病の原因となる細菌が体内に入ること、いろいろな病気をひきおこすこともわかってきています。定期的に歯科を受診されると治療も最小限で済みますから、時間や治療費も最小限で済むことになります。

家庭でも歯科医院でも、しっかりと子どもたちを守ってあげたいものです。



情報クリップ

こどもの歯科 待合室に図鑑コーナーができました。まず保護者の方が手に取っていただけるように、ちょっと大人向けの図鑑をそろえました。また、絵本を楽しむ「元氣わくわくおはなし会」も開催します。

医療法人 元氣が湧く こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:30
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●夜診 火曜・祝日（土日診療）

院長 経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科は手の動員
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
〈市営 大橋駐車場をご利用ください〉

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

